

**実践事例 No. 15 テーマ『親子読書感想文の取り組み（読書推進）』**

白山地区教育振興会実践区（奥州市）

＜白山小学校「まなびフェスト」における読書活動についての目標＞

★ 「読書活動」・・・次の冊数(ページ数)を目標に読書をすることができる。

1・2年(年間 130 冊)、3・4年(年間 80 冊)、5・6年(年間 7000 ページ)

**1 こんな課題が**

高度情報化の進展や、マスメディアへの情報依存が進む中で、活字をとおしてじっくりと考え、粘り強く物事に取り組む子どもの育成を図っていく必要がある。

**2 課題解決のための取組内容と目標は**

(1) 計画的な読書活動を推進する。

⇒到達目標 (値)

学年	1 学期	2 学期	3 学期
1・2年	50冊	60冊	20冊
3・4年	30冊	40冊	10冊
5・6年	2000ページ	4000ページ	1000ページ

(2) 「親子読書感想文」の取り組みを推進する。

**3 どんな役割と連携で**

**保護者**

読書への興味・関心を高めるとともに、親子のふれあいを大切にし、「親子読書感想文」に積極的に取り組む。

**学 校**

さまざまな場面を活用し、計画的な読書活動推進に努める。

**地 域**

成果の発表や表彰の機会を設けるとともに、子ども会活動の中でも読書に取り組む。



「親子夏祭り」の中での読み聞かせ

**4 どんな実践を**

(1) 「計画的な読書活動推進」について

ア 朝自習や業間の時間に読書を位置付けて取り組む。

イ 長期休業中も学校図書館を開放し、読書の機会を広げる。

ウ 読書カード記録により、学期または年間目標達成児童を全校朝会で表彰する。

(2) 「親子読書感想文」について

ア 冬休みを利用して各家庭に親子読書に取り組むよう働きかける。

イ 冬休み中に読んだ本について親子で感想文にまとめ、学校に提出する。

ウ 入賞作品を教育振興会だよりで紹介するとともに白山地区教育振興・福祉合同推進大会で表彰を行う。

エ 全作品を感想文集にまとめ、保護者に配布する。

(3) 「地域ぐるみ読書活動」について

夏休みの子ども会行事などに読書活動を位置付け、読み聞かせ等に取り組む。

**5 目標達成度の評価方法は**

学年末反省の機会に達成度についての評価を実施するとともに、P T A 役員や教育振興会からも意見を取り入れている。

**6 取り組みの P R**

親子で本を読んだり、読後の感想を話し合ったりすることは、親子の絆が深まるとともに、子どもの心の成長にとって大きな糧となっている。

また、継続した取り組みによって活動の定着が見られるのも大きな成果である。